

なかふらのの未来へ

「つながる」学校づくり

No.5

「未来思考」

令和3年8月、文部科学省は、「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」（中間報告）を公表しました。

（文部科学省ホームページは、下記二次元コードよりご覧ください）



この中で、新しい時代の学びを実現する学校施設の姿として『Schools for the Future 「未来思考」』で空間の価値を捉え直し、学校施設全体を学びの場として創造する『をビジョン』として掲げ、次の4点を「未来思考」の視点としています。

① 学校は、教室と廊下それ以外の各教室で構成されているものという固定観念から脱し、学校施設全体を学びの場として捉え直す。廊下も、階段も、体育館も、校庭も、あらゆる空間が学びの場であり、教育の場、表現する場、心を育む

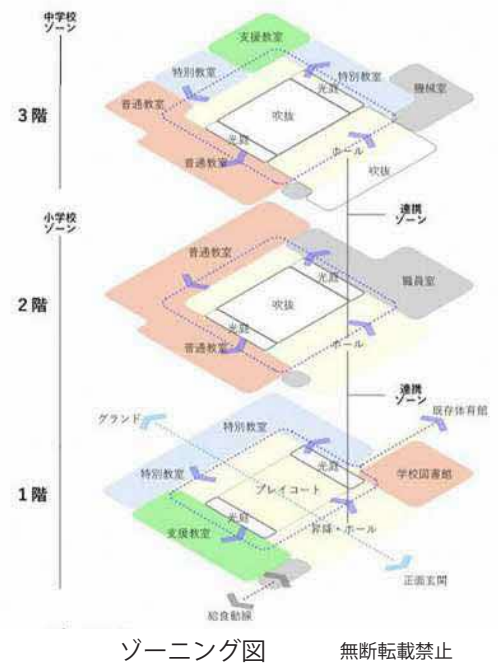
場になる。

② 教室環境について、単一的な機能・特定の教科等に捉われず、横断的な学び、多目的な活動に柔軟に対応していく視点（柔軟性）をもつ。

③ 紙と黒板中心の学びから、1人1台端末を文房具として活用し多様な学びが展開されていくように、学校施設も、画一的・固定的な姿から脱し、時代の変化、社会的な課題に対応していく視点（可変性）をもつ。

④ どのような学びを実現したいか、そのためにどんな学び舎を創るか、それをどう生かすか、関係者が、新しい時代の学び舎づくりのビジョン・目標を共有する。

まさに、これらの視点がこれからの未来につながる学校施設の姿であると捉え、中富良野町でも学校づく



なかまーる2階ロビーに展示中の新校舎模型

りがすすんでいます。新校舎の1/400のイメージ模型ができました。当分の期間、なかまーる2階ロビーに展示していますのでご覧ください。

【つづく】



新校舎完成イメージ

無断転載禁止